

美容アナリスト 中村祐子の しあわせコスメ 美容相談

第1回

美容に関する「今さらこんなこと聞けない」や、ちょっとヘヴィな質問まで、美容アナリスト中村祐子がお答えします。一生懸命＆具体的に回答しますので、どうぞよろしく!!



Q マクロビオティックをはじめから、口紅も自然派志向になりました。中村さんが考える「唇に優しい口紅」を教えてください。また、その口紅の美しい塗り方なども伝授いただけるとうれしいです。

A 天然の土、石、岩から生まれた無機顔料の口紅がおすすめ!

私 の考える「唇に優しい口紅」とは、カルナ防腐剤も必要ないのです。ズバリ「無機顔料を使った口紅」ですが、まだまだ無機顔料を使った口紅は市場では少なく、一般的な口紅には、無機顔料とは、天然の土、石、岩などを粉碎、精製し、不純物を取り除き、色のみを取り出したもので、2万年前から人間の肌で使用されていたぐらい安全な成分です。

最大の特長は、水にも油にも溶けないこと。そのため、メイクのときにも、皮膚の表面に顔料がのついているだけの状態なので、刺激性が限りなく少ないのです。また、粒子が大きいので、経皮毒の心配もありません。さらに、無機顔料は、微生物に利用されにくく、腐ることもないので、ケミカルな防腐剤も必要ありません。

このタール系色素は、非常に粒子が細かく、水や油に溶ける性質があり、皮膚から簡単に体内に吸収されます。アレルギーを起こす危険性があることから食品ではすでに使用禁止になっていますが、化粧品の色料としては、いまだに多く用いられているのが現状。特にタール系合成着色料、合成香料も一切不使用。保湿成分として国産無農薬の椿油、天然の抗酸化植物IIサジジが配合されています。商品はオレンジ色をしていますが、これは着色料によるものではなく、サジジの色によるもので、唇にのせると色はつきません。

私もすごく愛用していますが、本当に唇の皮がむけない! 単品で使えば、上品な光沢感のある大人ナチュラルな口元に、口紅に混ぜて使えば、その色と喧嘩することなく、一層美しさが引き出されます。

色素が口紅に用いられていることは危険と言えそう。

なぜなら、唇には角質層がほとんどないので、タール系色素が皮下組織に吸収されやすいのです。色素沈着して唇にシミができたり、色が悪くなったりしやすくなる他、食べ物と一緒に口の中に入ってしまうことで、子宮筋腫などの引き金になることも考えられます。

具体的にご相談者におすすめるのは、無機顔料を使ったリマナチュラルの定番口

今回ご紹介のアイテム

リマナチュラル
ヌードカラー
(無機顔料の口紅)
全3色

¥3,990
(本体価格¥3,800)

リマナチュラル グロス・ヴェラ
(透明リップグロス)

¥2,940 (本体価格¥2,800)

使い方のポイント

●リマナチュラルの口紅は、ベースが植物油脂なので、質感がとても柔らか。肌が呼吸でき、唇が荒れにくいのですが、スティックから長めに出すと折れることがありますので気をつけて。ポイントは、紅の部分を出して、リップブラシに含ませて塗ること。

●私は、全色をリップパレットに移し、混ぜて使っています。プロのヘアメイクさんは、ほぼ例外なくそうしていますが、それだけ口紅というものは、単色で使わない方が美しく仕上がるんですよ。下地にリマナチュラルのリップクリームを塗り、その上からリマナチュラルの口紅を2~3色とグロス・ヴェラを混ぜてから塗ると、唇に優しく自然なのに今っぽく唇になります。

●上手に仕上げるポイントは、1~2回ティッシュオフすること、口紅を塗る前に唇の山の部分にだけ、お手持ちのファンデーションを軽くぼかしておくことです。その上で、唇の輪郭より1~2mmほどオーバーに口紅を塗ると顔全体が引き締まり、小顔にも見えます。

●今のメイクは目元が主役なので、唇にはなるべく薄い色をつけた方が洗練された美人顔に仕上がりますが、40~60歳代の方は、顔に血色が足りなくなってくるので、やや濃いあたたかみのある色を選んだ方が若々しい印象に仕上がりますよ。12月のパーティーシーズン。唇に優しい華やかなリップメイクで、ぜひおかけください。

質問募集

皆さまからのご質問を募集します。
巻末ハガキをご利用のうえ、
マクロビオティック編集部まで
お寄せください。

※当誌面以外での個別回答はできかねますので予めご了承ください。

中村祐子の「開運メイク講座」を開催します。
詳しくは巻末5ページをご覧ください。

中村祐子 美容アナリスト

肌と環境に優しい「波動美容」を実践。女性誌に連載を持つ。また自身のホームページや東京(品川)と関西(夙川)のメンバーズビューティーサロンにて、個人カウンセリングにもごたまえ(会費月額200円)。著書「人生を変える「カリカ美容」」(マネジメント社)。http://www.nakamura-yuko.com